

対策は賢さを逆手に

人は怖いと覚えさせる

畜舎のまわりには防鳥系を張っても畜舎に入るといふ畜産農家のAさんに、「とにかくあそこの牛舎の人間は全員が怖いと思わせて下さい。あそこの牛舎の〇〇さんだけは怖い人って覚えられたらダメ、カラスの姿を見た人がすぐに小型のロケット花火撃って下さい、飛んでいようが地上にしようが姿をみたら即、迎撃です。牛舎内は花火撃てませんから棒もって追い回して下さいね。それから防鳥系はカラスからよく見えてますから、その防鳥系と防鳥系の間にカラスから見えにくいテグス系を足して下さい、逃げるのときに見えない系に絡まったら怖さ百倍ですから」って話したら、カラス来なくなりました。

畑は怖いって学習させれば、案外簡単に来なくなる。

小型花火が効くという話だけ聞いて、撃つのはお父さんだけで他の家族や従業員は知らん顔っていうのが一番まずい。

効いてるのは防鳥系？

80歳過ぎてる隣集落のN婆ちゃん、「そんなもん、カラスなんか黄色に銀系を擦った防鳥系だけで十分、効く効く！」って言う。

あたしんちのとなりのK爺は防鳥系は効かないからCDまで吊ってそれでもダメって言う。

さっそくカラスが得ている両方の畑の情報の【差】を調べてみた。

N婆の畑の情報

- ・ キュウリもトマトもカキもイチジクも先に残らずN婆に収穫されてしまう。
- ・ 大声で一人ごと言うN婆が四六時中畑のどこかにおる。
- ・ 野菜クズも魚の骨もチャガラも、生ごみは蓋つきのコンポストに入れるから突っつけん。
- ・ あんな畑、餌は少ないし、婆

さんうるさいし系なんか張らんでも行く気にならんわい。

K爺の畑の情報

- ・ 防鳥系とCDってことは餌のある畑、行ってみる価値あるなあ。
- ・ マルチの上には大きいなりすぎた黄色のキュウリ、オツ、毎日足してくれる生ごみ捨て場もある。
- ・ はーん、高いところのカキは熟しても採りよらん。
- ・ 爺さんちよこちよこつと畑に来るけど、すぐおらんようになる。

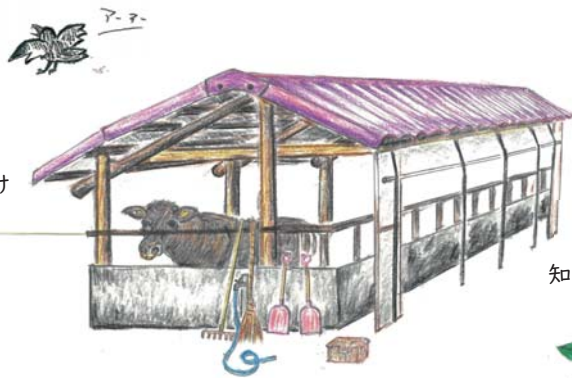
爺さんの畑、縄張りにしてそばのセンドンの木に巣作りして子育てしたら持続可能なカラス永住の聖地になるぞ。N婆とK爺の畑でカラスの得る情報にこれだけの【差】。〇〇は効く、▽▽は効かないなんて人の話聴くよりカラスになったつもりで自分の畜舎や畑をみなおそうよ。



おっさんひとりだけこわい畜舎

あっ、次回もカラスの話の続きすっからね!

↓ 種類の系だけ



知らん顔

知らん顔



講師紹介 井上 雅央氏

1949年、奈良県出身。

愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。

元農研機構 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。

退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動。

著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダ三』『女性

がすればずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

